

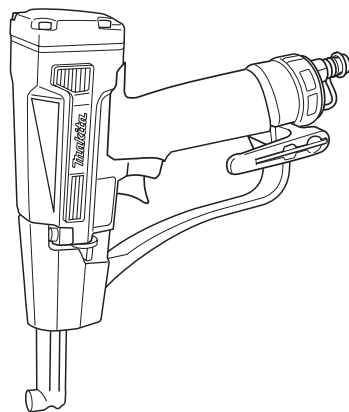


# 取扱説明書

## ばら釘打

モデル AG090

モデル AG125



このたびはばら釘打をお買い上げ賜わり  
厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく  
お読みいただき本製品の性能を十分ご理  
解の上で、適切な取り扱いと保守をして  
いただいて、いつまでも安  
全に能率よくお使いくださ  
るようお願いいたします。  
なお、この取扱説明書はお  
手元に大切に保管してくだ  
さい。



# 目次

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ・ 主要機能                     | 3  |
| ・ 安全上のご注意                  | 4  |
| ・ 各部の名称および標準付属品            | 8  |
| ・ 別販売品のご紹介                 | 9  |
| ・ 使い方                      | 10 |
| ・ コンプレッサの選定について            | 10 |
| ・ エアホースの選定について             | 10 |
| ・ 潤滑油の注油について               | 10 |
| ・ コンプレッサ・エアセット・エアホースの保管・点検 | 11 |
| ・ 釘の選定について                 | 11 |
| ・ 釘の打ち込み深さの調整について          | 12 |
| ・ エアホースの接続                 | 13 |
| ・ 安全装置の確認                  | 13 |
| ・ 釘の装てん                    | 14 |
| ・ 打ち込み方法について               | 14 |
| ・ 単発打撃をする方法について            | 15 |
| ・ 接合金物への釘打ち作業について          | 15 |
| ・ 排気の方法について                | 16 |
| ・ 釘づまりの直し方                 | 16 |
| ・ フックについて                  | 17 |
| ・ 保守・点検について                | 18 |
| ・ 作業後の保管                   | 18 |
| ・ 指定オイルの使用                 | 18 |
| ・ ご修理の際は                   | 18 |

# 主要機能

| 主要機能      |               | モデル | AG090                                            | AG125       |
|-----------|---------------|-----|--------------------------------------------------|-------------|
| 使用空気圧力    |               |     | 0.44 ~ 0.83 MPa (4.5 ~ 8.5 kgf/cm <sup>2</sup> ) |             |
| 使用釘       | 市販鉄丸釘         |     | 50 ~ 90 mm                                       | 75 ~ 125 mm |
|           | 市販太め鉄丸釘       |     | 50 ~ 90 mm                                       | 75 ~ 90 mm  |
|           | 市販細め鉄丸釘       |     | 50 ~ 90 mm                                       | 75 ~ 90 mm  |
|           | 市販金物接合用釘      |     | 40・65・90 mm                                      | 90 mm       |
|           | 市販金物接合用スクリーナ釘 |     | 45 ~ 50 mm                                       | 45 ~ 50 mm  |
| 質 量       |               |     | 1.3 kg                                           |             |
| 本 製 品 寸 法 |               |     | 長さ 260 × 高さ 243 × 幅 56 mm                        |             |
| 使用ホース内径   |               |     | 6.5 mm 以上                                        |             |

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

### **警告**

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

### **注意**

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### **注**

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

## ⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書は必ずよくお読みください。
  - ・ 機械の取扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、機械を使用しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
    - 疲れているとき、身体が不調なとき。
    - 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用して釘打ち作業をしてください。
  - ・ 装着しないと打ち損じの釘で目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
  - ・ 釘を打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
  - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
6. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
  - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。
7. 釘打ち作業以外の用途には使用しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
8. 機械に刻印や溶接などの改造をしないでください。
  - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
9. 動力源は圧縮空気を使用してください。
  - ・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
10. 圧縮空気の圧力は 0.44 ～ 0.83 MPa（4.5 ～ 8.5 kgf/cm<sup>2</sup>）の範囲内で使用してください。
  - ・ 高過ぎる圧力は、損傷による事故の原因になります。
11. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
  - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
12. 釘ガイドがスムーズに動くことを確認してからご使用下さい。
  - ・ 釘ガイドに異常があると、事故の原因になります。
13. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
  - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
14. 次の場合は本製品からエアホースをはずしてください。
  - ・ 誤って機械が作動すると事故の原因になります。
    - 修理する場合。
    - 作業中、機械を持って移動する場合。
    - 点検整備をする場合。
    - その他事故が予想される場合。

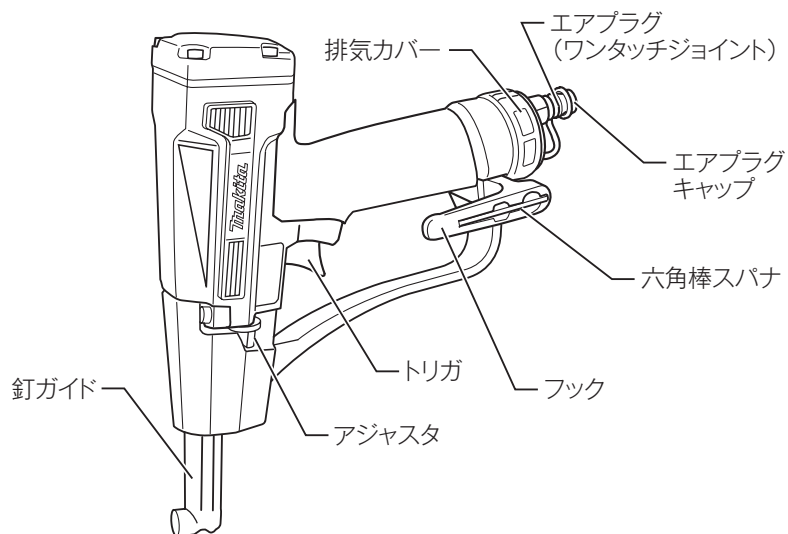
## ⚠ 警告

15. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりさせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
  - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
16. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
  - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
17. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
  - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
18. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
  - ・ 打ち損じの釘などがあたりけがをする原因となります。
19. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
  - ・ 釘が突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
20. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
  - ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。
21. 射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
  - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

## ⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
  - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
  - ・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
  - ・ 不完全な機械を使用すると、事故の原因になります。
4. 装てんされた釘の先端を確実に材料に当ててください。
  - ・ 確実に当てていないと釘がはね返り、事故の原因になります。
5. 作業中は、機械に顔などを近づけないでください。
  - ・ 釘の上や木の節などに当たった場合、機械が大きく反動し、けがをする原因になります。
6. 作業中に機械の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
  - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
7. 機械およびコンプレッサは、空気充填のまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
  - ・ タンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
8. 機械の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
  - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
9. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をお勧めします。点検修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
  - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。
  - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

## 各部の名称および標準付属品



### 標準付属品

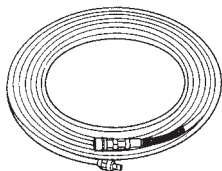
- ・ 油サシ (タービン油#90、30 ml入)
- ・ セフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ 六角棒スパナ 3



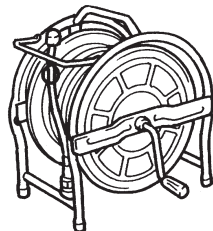
## 別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

- ・ エアホースアッセンブリ



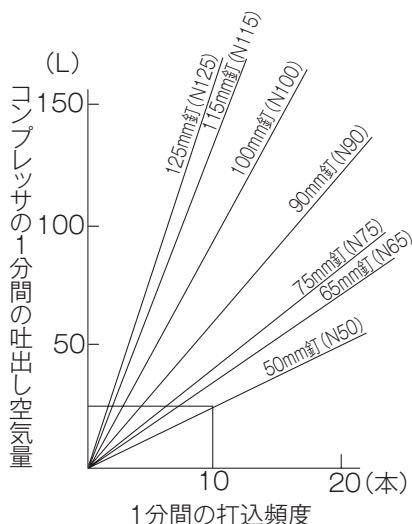
- ・ エアリール



# 使い方

## コンプレッサの選定について

- 本製品を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は右図を参考にしてください。右図は本製品での 0.83 MPa (8.5 kgf/cm<sup>2</sup>) 時の打込頻度とコンプレッサの吐出し量の関係を使用釘別に示しています。たとえば、N50 釘で打込頻度が 1 分間に約 10 本ですと、吐出し空気量 25 L/min 以上のコンプレッサが必要です。



圧力0.83 MPa (8.5 kgf/cm<sup>2</sup>) の場合

## エアホースの選定について

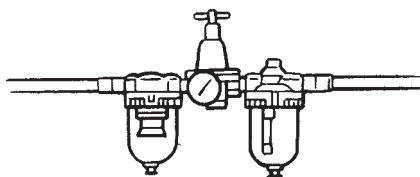
- 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。
- ※内径 6.5 mm 以上、長さ 30 m 以下のエアホースを使用する事を目安に選定してください。

### 注

- 釘の打込頻度に比べコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長さが長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

## 潤滑油の注油について

- 本製品を最適の条件で使用するために、エアセットを本製品にできるだけ近づけて取り付けてください。オイルの油の滴下の量は 20 本打ち込むごとに 1 滴 (約 0.02 cc) の割合で調整してください。



# 使い方

- ・ エアセットのオイルを使用しない場合は使用前後にエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してください。作業前の注油は潤滑油となります。作業後は注油してから数回作動させてください。油が本製品全体に行きわたり錆止めとなります。長時間作業される場合は注油回数をふやしてください。

## コンプレッサ・エアセット・エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンクおよびエアセットのエアフィルタ内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本製品の能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアセットのオイル内にタービン油が入っているか定期的に点検してください。油がない状態で使用しますと、Oリングの早期摩耗の原因となります。
- ・ エアホースは熱（60℃以上）、薬品（シンナー、強酸、強アルカリなど）および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

## 釘の選定について

- ・ 本製品は、次に示す市販釘が使用できます。

### 市販釘

| 釘形状                                                                                 | 名称                   | 種類   | L<br>(mm) | d<br>(mm) | D<br>(mm) | 色   | 適応モデル |       |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------|-----------|-----------|-----------|-----|-------|-------|
|                                                                                     |                      |      |           |           |           |     | AG090 | AG125 |
|  | 鉄丸釘<br>(JIS A5508)   | N50  | 50        | 2.75      | 6.6       | —   | ●     |       |
|                                                                                     |                      | N65  | 65        | 3.05      | 7.3       |     | ●     |       |
|                                                                                     |                      | N75  | 75        | 3.4       | 7.9       |     | ●     | ●     |
|                                                                                     |                      | N90  | 90        | 3.75      | 8.8       |     | ●     | ●     |
|                                                                                     |                      | N100 | 100       | 4.2       | 9.8       |     |       | ●     |
|                                                                                     |                      | N115 | 115       | 4.2       | 9.8       |     |       | ●     |
|                                                                                     |                      | N125 | 125       | 4.6       | 10.3      |     |       | ●     |
|                                                                                     |                      | FN65 | 65        | 2.75      | 6.6       |     | ●     |       |
|                                                                                     | 太め鉄丸釘<br>(JIS A5508) | CN50 | 50.8      | 2.87      | 6.76      | 緑   | ●     |       |
|                                                                                     |                      | CN65 | 63.5      | 3.33      | 7.14      | 黄   | ●     |       |
|                                                                                     |                      | CN75 | 76.2      | 3.76      | 7.92      | 青   | ●     | ●     |
|                                                                                     |                      | CN90 | 88.9      | 4.11      | 8.74      | 赤   | ●     | ●     |
|                                                                                     | 細め鉄丸釘<br>(JIS A5508) | BN50 | 50.8      | 2.51      | 6.76      | 赤   | ●     |       |
|                                                                                     |                      | BN65 | 63.5      | 2.87      | 7.54      | クリア | ●     |       |
|                                                                                     |                      | BN75 | 76.2      | 3.25      | 7.92      | 茶   | ●     | ●     |
|                                                                                     |                      | BN90 | 88.9      | 3.43      | 8.74      | 緑   | ●     | ●     |
|                                                                                     | 金物接合用釘               | ZN40 | 38.1      | 3.33      | 7.14      | —   | ●     |       |
|                                                                                     |                      | ZN65 | 63.5      | 3.33      | 7.14      |     | ●     |       |
|                                                                                     |                      | ZN90 | 88.9      | 4.11      | 8.74      |     | ●     | ●     |
|                                                                                     | 金物接合用<br>スクリュー釘      | TS45 | 41        | 4.9       | 9.3       | 青   | ●     | ●     |
|                                                                                     |                      | ZS50 | 50        | 5.2       | 10.0      | —   | ●     | ●     |

# 使い方

## 注

- ・ 指定の釘を使用してください。
  - ・ 指定以外の釘を使用しますと、釘づまり故障の原因になります。
  - ・ コンクリートや鋼板への焼入釘やステンレス釘は本製品に悪影響を与えるので使用しないでください。

## ⚠ 注意

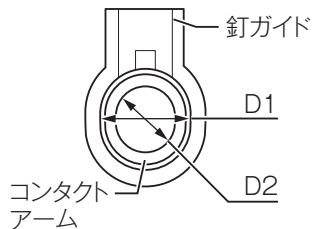
下記の釘は使用しないでください。故障の原因になります。

- ・ 釘ガイド (D1) の中に釘頭が入らないもの。
- ・ コンタクトアーム (D2) の中に釘頭が入り込んでしまうもの。

(下表参照)

市販の丸釘は、頭の大きいものや小さいものが混入していることがあります。

| モデル   | 釘頭径           |
|-------|---------------|
| AG090 | φ 6.0 mm 以下の釘 |
| AG125 | φ 7.2 mm 以下の釘 |



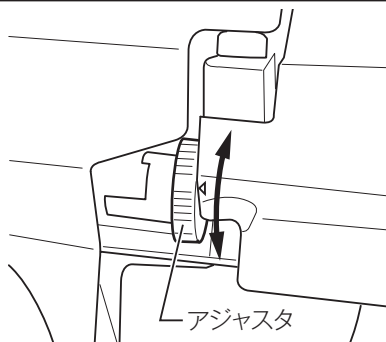
## 釘の打ち込み深さの調整について

## ⚠ 警告

打ち込み深さ調整をする場合は必ず本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

- ・ 作業を始める前にエアホースをはずしてください。
- ・ 打ち込み深さ調整はアジャスタを指で回して調整します。
- ・ 調整目盛が「1」のとき打ち込み深さが一番深くなり、数字が大きくなるにしたがって浅くなります。一目盛で約 1.5 mm の調整が行えます。



# 使い方

## エアホースの接続

### ⚠ 警告

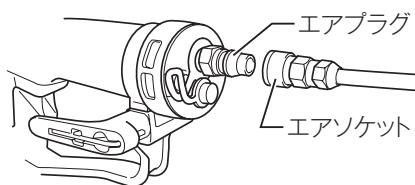
本製品にエアホースを接続するときはトリガに指をかけないでください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

釘ガイド内に釘が装てんされていないことを確認してから本製品にエアホースを接続してください。

- ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

- ・ 本製品のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込んでください。



## 安全装置の確認

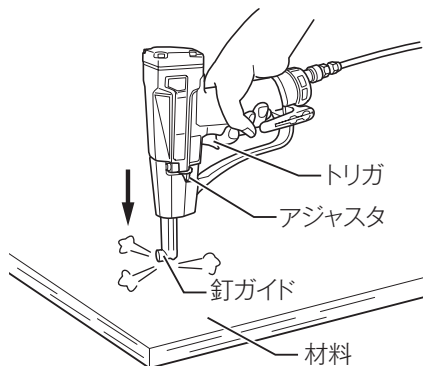
### ⚠ 警告

安全装置に異常がある場合は使用しないでください。

- ・ そのまま使用すると事故の原因になります。

- ・ 釘を打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。

1. 作業にはいる前に本製品に釘が装てんされていないことを確認してください。
2. 本製品にエアホースを接続します。
3. まず打込み調整アジャスタを "1" にしてください。次にトリガに指をかけずに釘ガイドを材料に押し当ててください。
4. 上記 3 の操作で本製品が作動する場合は安全装置が異常です。



# 使い方

## 釘の装てん

### ⚠ 警告

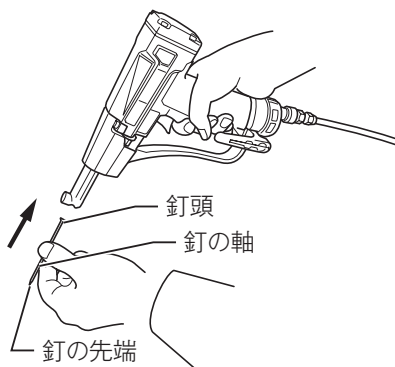
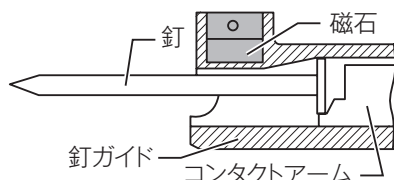
釘を釘ガイド内に装てんするときは、トリガに指をかけないでください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

釘を釘ガイド内に装てんするときは、釘の先端を持たず、軸を持ってください。

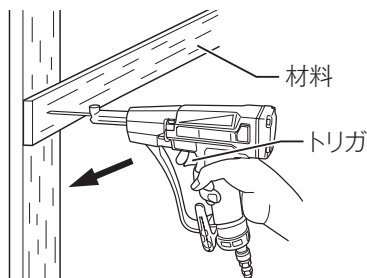
- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

- ・ 用途、作業内容により 11 ページの表より釘を選定します。
- ・ 釘の軸を指で軽く持ち、釘頭を釘ガイド内にさし入れ、釘の軸を磁石に吸着させます。



## 打ち込み方法について

- ・ 釘の先端を材料に押し当てながらトリガを引くと打撃を開始します。
- ・ 打ち込みを始めるときは、本製品を押し下げる様にするすると釘が安定します。
- ・ 打ち込みが終了すると打撃が止まります。
- ・ 打ち込みが足りないときは、浮いた釘頭に再び射出口をさし込み、本製品を押し付けながらトリガを引けば増し打ちできます。



### 注

- ・ 釘を装てんして本製品を押し付ける際、コンタクトアームが十分押し上げられないと、作動しない構造になっています。トリガを引いた状態で本製品を押し付けると作動します。

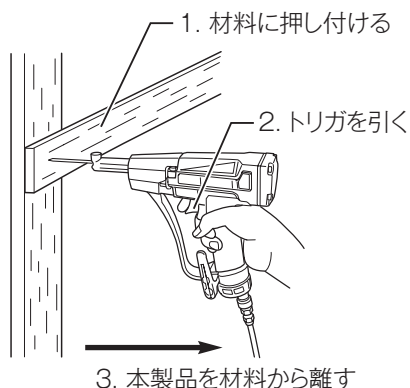
# 使い方

## 単発打撃をする方法について

- ・ 釘の位置決めなど、釘を単発打撃（1～2打撃）するときには、次のように操作します。
1. 釘の先端を材料に押し付けます。
  2. トリガを引きます。この操作で1～2打撃した後、素早く本製品を材料から離します。

### 注

- ・ 打撃の最中にトリガを離しても本製品を押し続けている限り打撃します。

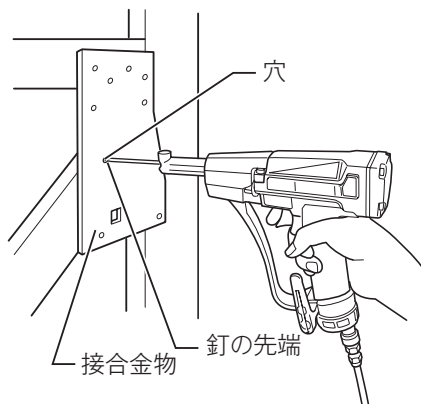


## 接合金物への釘打ち作業について

### ⚠ 警告

釘の先端が確実に接合金物の穴に入ったことを確認してから打ち込みを開始してください。

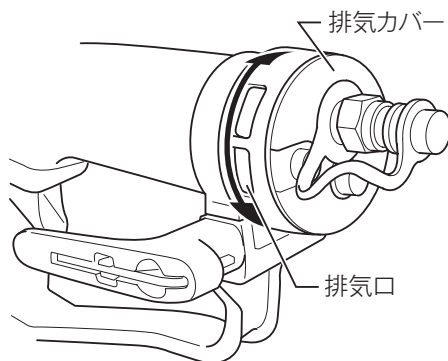
- ・ 本製品が大きく反動したり、釘がはね返るなど、事故の原因になります。



# 使い方

## 排気方向について

- ・ 排気方向は排気カバーを手で回すことにより、360 度回転できます。



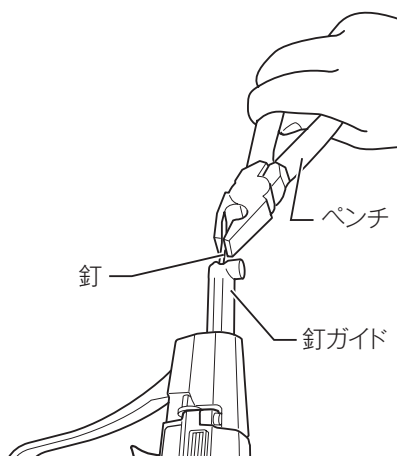
## 釘づまりの直し方

### ⚠ 警告

作業に入る前に本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

- ・ 作業に入る前に、本製品からエアホースを外してください。
- ・ 釘ガイド内につまった釘をペンチなどを使用して取り除いてください。
- ・ 釘ガイド・コンタクトアームがスムーズに摺動するか確認してください。



# 使い方

## フックについて

### ⚠ 警告

フックを使用する場合は必ず本製品からエアホースをはずしてください。

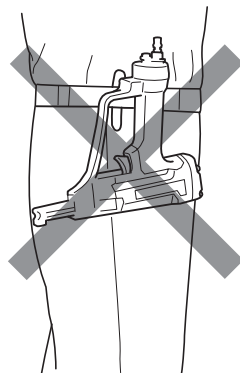
- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

フックを腰のベルトなどにかけないでください。

- ・ フックがはずれて本製品が落下したり誤って本製品が作動すると、事故の原因になります。

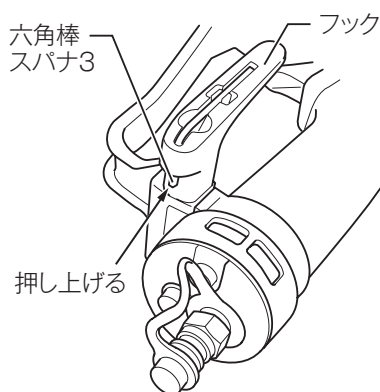
フックの取り付けネジは、確実に締め付けてください。

- ・ フックがはずれて本製品が落下したり誤って本製品が作動すると、事故の原因になります。



- ・ フックを利用すれば本製品を一時引っかけておくのに便利です。本製品に取り付けてあるフックは六角棒スパナ 3 を使用し、左右どちらにも取り付けることができます。

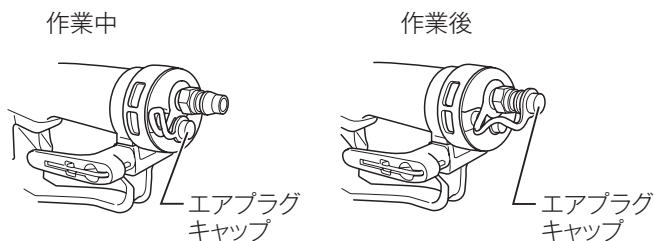
- ・ 六角棒スパナ 3 は短い方の先端を押し上げ、フックからはずしてください。



## 保守・点検について

### 作業後の保管

- ・ 本製品内にゴミやほこりなどが入ると故障の原因になります。
- ・ 使用しないときはエアホースをはずしエアプラグにエアプラグキャップをしてください。
- ・ 長時間使用しないときは防錆のためエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してから数回作動させてください。その後、プラスチックケースに収納してください。
- ・ 湿気の多い所、日光の当たる所、粉じんの多い所は避けて保管してください。



### 指定オイルの使用

- ・ オイルは当社純正オイルを必ず使用してください。

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらなくて、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。



881919C0  
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502  
TEL.0566-98-1711（代表）